

日本共産党三田市議団

長尾 明憲 議員



再編統合

再編統合で
魅力あるまちになるのか

議員 再編統合によって市民病院がなくなれば、市内では出産すらできなくなる。そんなまちが本当に魅力あるまちと言えるのか。また、幼稚園、中学校も再編統合が進められようとしている。安心して医療を受けるための地域に根差した市民病院と、地域と密接に連携した幼稚園、小中学校こそ、人が集うまちに不可欠であると考えがどうか。

市民の生命を守り教育を保障するためには必要

市 市民の生命を守る急性期医療の維持・充実、周産期医療など安心して出産できる環境の充実には、医療資源の集約化が必要である。学校園については多様な出会いや様々な選択が可能となる環境を整えることが重要と考える。幼稚園再編で設置する認定こども園は保育サービスの充実も図るもので、魅力を高め、移住・定住促進につながると考える。(森市長)

学校園再編

学校園の再編は
反対意見も聞くべきでは

議員 意見交換会やアンケートの結果でも地域によっては半数近くが、「納得できない」または「反対」の意思を示しているのに強引に進めるべきではない。いったん立ち止まり、もっと時間をかけて地域の声を聞くべきでは。

地域や保護者と協議しながら再編を進める

市 反対意見とともに早期実現を期待する声もあり、地域や保護者の心配や懸念に応えるべく、再編計画案の修正も行い、丁寧に対応してきている。協議を重ねながら再編してよかったと思ってもらえるように進めたい。(鹿嶽教育長)

市民病院

検討委員会の議論は
正しいと言えるのか

議員 検討委員会は統合を求める当事者である両病院長が入っているが、客観的な議論と言えるのか。統合と運営形態の変更が与える影響の議論もされておらず、良い事例でしか検討をしていないのでは。

急性期医療を確保するための議論が交わされた

市 両病院長には、医療現場の現状や課題についての意見や、運営形態についても経営に関する審議会でも答申をいただいた。急性期医療を維持・充実するために必要な項目についても、各委員から活発な意見をいただいている。(米田医療政策監)

日本維新の会三田

小山 裕久 議員



教育支援

三田市における学校外教育
バウチャー制度の有用性は

議員 学校外教育バウチャー制度は、子育て世代の経済的負担を軽減するとともに、子どもの学力や学習意欲、個性や才能を伸ばすことができる。三田市を「選ばれるまち」「住みつけたいまち」「活力があふれるまち」「子どもを産み、育てやすいまち」にするため、学校外教育バウチャー制度の有用性について伺う。

実現可能性について具体的研究を進めたい

市 子どもが家庭環境に左右されず自分の希望に沿ってチャレンジし、個性や可能性を伸ばすチャンスがあるという点から有用で、地域の子育て環境の充実や経済効果も期待できる。一方で、中長期の事業継続が必要で財政負担や財源確保の問題が生じるほか、単なる経済的支援にとどまらない工夫や制度設計が必要である。実現可能性について具体的研究を進めたい。(森市長)

説明

*学校外教育バウチャー制度：塾や習い事の学校外教育で利用できるクーポン券等を支給する制度

都市公園

都市公園を活用した
新たな収入確保を

議員 駒ヶ谷運動公園は、300台の駐車場が満車になる日もあるなど利用者が多い。キッチンカーの導入等、様々な考えを駆使して新たな収入確保の施策が必要では。

更なる収益確保と公園のにぎわい創出に取り組む

市 コロナ禍で緑のオープンスペースとしての価値が見直され、都市公園の人気が高まっている。更なる魅力向上のため、収益施設の整備や公園の維持管理について、民間の優れたノウハウと投資を呼び込むPark-PFI^{パークピーエフアイ}、イベントや各種競技大会にあわせたキッチンカーの導入等、更なる収益確保と公園のにぎわい創出に向け、取り組みたい。(濱田副市長)

説明

*Park-PFI：公園の施設整備や維持管理を行う民間事業者を公募し選定する制度

教育制度

小学校高学年の
教科担任制の導入を

議員 文部科学省では、令和4年度から小学校の教科担任制を進める。これにより教員間の児童理解が進み、専門性の高い教科指導を行えると考えるが、市の方向性を伺う。

段階的に教科担任制を進めていく

市 従来から各校で実施している音楽や図工の専科指導に加え、算数、理科、体育、外国語を各学校の状況に応じて選択し、段階的に進めていく。(鹿嶽教育長)

他の質問 ●優秀な職員がやりがいをもてる積極的な登用について

